

HP Operations エージェント

Windows®、Linux、HP-UX、Solaris、AIX オペレーティングシステム向け

ソフトウェアバージョン: 11.10

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2012 年 8 月

ソフトウェアリリース日: 2012 年 8 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2010 - 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Intel®およびItanium®は、Intel Corporationの米国およびその他の国の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XPおよびWindows Vista®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

謝辞

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com)氏によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用されるOpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>(英語サイト))によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)氏によって作成されたソフトウェアが含まれていません。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>(英語サイト))によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には 'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインタフェースが使用されています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかの確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>(英語サイト)

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com>

HPソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDの登録は、次の場所で行います。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>(英語サイト)

アクセスレベルに関する詳細は、以下のWebサイトにアクセスしてください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

目次

リリースノート.....	1
目次.....	5
HP Operations エージェント リリースノート.....	6
本リリースの概要.....	6
HP Operations エージェント サポート マトリックス.....	7
インストール要件.....	7
インストールの注意.....	8
既知の問題.....	9
制限事項.....	10
ドキュメントの更新.....	14

HP Operations エージェント リリースノート

Windows®、Linux、HP-UX、Solaris、AIX オペレーティングシステム 用

ソフトウェアバージョン: 11.10

発行日: 2012 年 8 月

このドキュメントは、HP Operations エージェント の変更点をまとめたものです。ここでは、関連書やヘルプには掲載されていない大切な情報が説明されています。このドキュメントでは、次の事項を確認できます。

- [本リリースの概要](#)
- [サポート マトリックス](#)
- [インストール要件](#)
- [既知の問題](#)
- [ドキュメントの更新](#)

本リリースの概要

- **新しい仮想化プラットフォームをサポート:**
 - すべてのサポート対象 Linux カーネル向けのカーネルベースの仮想マシン (KVM)
 - Xen (サポート対象の SUSE Linux バージョン向け)
 - Solaris 向けの Branded Zone

詳細については、『*HP Operations エージェント コンセプト ガイド*』の「*拡張された仮想環境における HP Operations エージェント*」のセクションを参照してください。
- **ライセンス:** HP Operations エージェント のインストール時にライセンスを設定できるようになりました。詳細については、『*HP Operations エージェント インストールガイド*』および『*ライセンスガイド*』を参照してください。
HP Operations エージェント をインストールしても、評価ライセンスは設定されません。機能を使用するには、次のいずれかを実行します。
 - インストール時にライセンスを設定します。詳細については、『*インストールガイド*』および『*ライセンスガイド*』を参照してください。
 - インストール後に `oalicense` ユーティリティを使用してライセンスを設定します。詳細については、『*ライセンスガイド*』を参照してください。
- **HP Operations エージェント および Infrastructure SPI のインストールプロセスを簡略化**
HP Operations エージェント および *Infrastructure SPI* メディアには HP Operations エージェント および Infrastructure SPI パッケージの両方が収録されており、`oainstall` プログラムを使用して両方の製品をインストールできます。
- **Windows でのインストールの高速化:** Windows では、HP Operations エージェント 11.10 のインストールの所要時間は、旧バージョン (11.00) のインストールに比べて大幅に短縮されています。
- **セキュリティの強化:**
 - root 以外のユーザーや権限のないユーザーを使用して HP Operations エージェント を実行できるようになりました。root 以外のユーザーや権限のないユーザーを使用して Operations Monitoring Component だけを実行するようにエージェントを設定し、Performance Collection

Component を root または Local System で引き続き実行することもできます。詳細については、『*HP Operations エージェント ユーザーガイド*』を参照してください。

- HP Operations エージェント 11.10 により、HPOM との安全な通信に使用される RSA 鍵の長さを設定できます。詳細については、『*HP Operations エージェント コンセプト ガイド*』の「セキュリティコンポーネント変数の設定」のセクションを参照してください。
- 新しい `ENABLE_DEF_SYM_KEY_ALGO` 設定変数を使用して、選択した対称鍵アルゴリズムを安全な通信に使用するようにエージェントを設定できます。サポートされるアルゴリズムは次のとおりです。
 - eBlowfish
 - eDES
 - eDES3
 - eAES128
 - eAES192
 - eAES256

詳細については、『*HP Operations エージェント コンセプト ガイド*』の「対称鍵のセキュリティコンポーネントの設定」セクションを参照してください。

- **新しいプラットフォームをサポート:** Solaris 11
- **サポートの中止:** このバージョンでは、次のプラットフォームにおける HP Operations エージェント のサポートは中止されました。
 - Itanium 版 Linux
 - Itanium 版 Windows
 - AIX 5.3 (32 ビット)

HP Operations エージェント サポート マトリックス

ソフトウェアとハードウェアの要件の詳細なリストについては、[HP サポート マトリックス](#)を参照してください。

メモ: ほとんどのサポート領域では、HP Passport ユーザーとして登録し、サインインする必要があります。また、多くの場合、アクティブなサポート契約が必要となります。アクセスレベルの詳細については、[アクセスレベル](#)にアクセスしてください。

HP Passport に登録して ID を取得するには、[HP Passport の登録](#)にアクセスしてください。

インストール要件

インストール要件とインストール手順については、『*HP Operations エージェント インストールガイド*』の「HP Operations エージェント」で確認できます。インストールガイドは次の場所にあります。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

マニュアルの Web サイトにログオンした後、以下の手順に従います。

1. [製品] リストで、[Operations エージェント] を選択します。
2. [バージョン] リストで、[11.10] を選択します。
3. [検索] をクリックします。

インストールの注意

- HP Operations エージェント のプレリリース評価版からのアップグレードはサポートされていません。インストールの前に、HP Operations エージェント 11.10 のプレリリース評価版をシステムから完全に削除する必要があります。
- oacleanall ユーティリティを使用すると、システムからエージェントを完全に削除できます。このユーティリティを使用するには、HP Operations エージェント 11.10 ISO ファイルを抽出またはマウントしたディレクトリにある scripts ディレクトリにアクセスして、oacleanall スクリプトを実行します。

scripts ディレクトリには、oacleanall スクリプトが格納されています。プラットフォームにつき 1 つのスクリプトがあります。システムを元の状態に戻すには、適切なスクリプトを選択する必要があります。次の表は、サポート対象の全プラットフォームのコマンド一覧です。

メモ: このスクリプトは、エージェントが他の HP ソフトウェア製品と共存しているシステムでは使用しないでください。

オペレーティングシステム	アーキテクチャ	コマンド
Windows	x86	cscript oacleanall_Windows_X86.vbs
	x64	cscript oacleanall_Windows_X64.vbs
Linux	x86	./oacleanall_Linux2.6_X86.sh
	x64	./oacleanall_Linux2.6_X64.sh
	power (64 ビット)	./oacleanall_Linux2.6_PPC64.sh
HP-UX	PA-RISC	./oacleanall_HP-UX_PA32.sh
	Itanium	./oacleanall_HP-UX_IA32.sh
Solaris	SPARC	./oacleanall_Solaris_SPARC32.sh
	x86	./oacleanall_Solaris_X86.sh
AIX	power (32 ビット)	./oacleanall_AIX_powerpc32.sh
	power (64 ビット)	./oacleanall_AIX_powerpc64.sh

メモ: このスクリプトを使うとエージェントがシステムから完全に削除され、復元できません。このスクリプトは、エージェントのインストールが不完全であったり、失敗したり、不正確に行われたりした場合の不具合を改善するためにのみ使用してください。

既知の問題

各欠陥の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。既知の欠陥の詳細については、[HP ソフトウェア サポート オンライン](#)にアクセスするか、お客様担当の HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

QCCR1A129472:scopeux、perfalarm、および rtmd プロセスが、グローバル AIX LPAR で新しい共有 WPAR を作成した後、Down のままになっている。

回避策: 次のコマンドを実行します。

- scopeux および perfalarm を起動する場合:

ovpa start scope

- rtmd を起動する場合:

ovc -start rtmd

QCCR1A126866:高可用性クラスタにあるエージェント ノードで、HPOM ポリシーのステータスを無効から有効に変更すると、clusterpollist ファイルが更新されない。

回避策: なし。

QCCR1A123816:Windows ノードで rtmd プロセスの起動に失敗すると、System.txt ファイルに以下のエラーメッセージが表示される。

```
rtmd (1188/2188):Failed to connect to perfd.
```

回避策:

1. エージェントを停止します。
2. テキスト エディタで perfd.ini ファイルを開きます。
3. 次の行を追加 (またはコメントアウト) します。

```
ipv4=true
```

4. ファイルを保存します。
5. エージェントを起動します。

opcagt -start

または、エージェントを起動する前に、%SystemRoot%\system32\drivers\etc\hosts ファイルに次のエントリを追加します。

```
:::1 localhost
```

QCCR1A145606:AIX LPAR の場合、BYCPU_メトリックの値が、AIX に内蔵のシステム監視ツールで表示される値と一致しない (CPU の共有モードを DEDICATED に設定した場合を除く)。

回避策: なし

QCCR1A123745:すべてのBYLS_メトリックが、特定のLPARシステムに対してnaと表示される。

回避策: データがnaと表示されているLPARの共有メモリをクリアして、エージェントを再起動します。

制限事項

- HP-UXシステムでは、glanceのキャラクターモードインターフェイスを11.10エージェントのインストール中に開くと、次のエラーメッセージがglanceのコンソールに表示されます。

```
Glance fatal error.== Fatal Nums Error == 11.00.044 10/13/10 ==
```

このエラーは無視してください。

- SNMP_SESSION_MODEの変数の値をNO_TRAPDの値に設定すると、HP Operations エージェント 11.10 のイベント インターセプタ コンポーネントは Windows ノードの Microsoft SNMP サービスに接続されます。
- scope コレクタは、vMA、KVM ホスト、Xen ホストで同じ BYLS メトリック セットをログに記録しますが、KVM ホストまたは Xen ホストの scope ログでは、次のメトリックの値は常にnaと示されます。
 - BYLS_CLUSTER_NAME
 - BYLS_CPU_PHYS_READY_UTIL
 - BYLS_CPU_PHYS_WAIT_UTIL
 - BYLS_CPU_PHYSYC
 - BYLS_CPU_SYS_MODE_UTIL
 - BYLS_CPU_USER_MODE_UTIL
 - BYLS_CPU_UNRESERVED
 - BYLS_DATACENTER_NAME
 - BYLS_DISK_UTIL
 - BYLS_DISK_UTIL_PEAK
 - BYLS_LS_PARENT_TYPE
 - BYLS_LS_PARENT_UUID
 - BYLS_MEM_ACTIVE
 - BYLS_MEM_HEALTH
 - BYLS_MEM_OVERHEAD
 - BYLS_MEM_SWAPPED
 - BYLS_MEM_SWAPTARGET
 - BYLS_MEM_SWAP_UTIL
 - BYLS_MEM_SYS

- BYLS_MEM_UNRESERVED
- BYLS_VC_IP_ADDRESS
- BYLS_DATACENTER_NUM_HOSTS
- BYLS_BOOT_TIME_EPOCH
- BYLS_SUBTYPE
- BYLS_DISK_CAPACITY
- BYLS_MULTIACC_ENABLED
- BYLS_DISK_IORM_ENABLED
- BYLS_DISK_IORM_THRESHOLD
- BYLS_DISK_FREE_SPACE
- BYLS_DISK_SHARE_PRIORITY
- BYLS_DISK_READ_LATENCY
- BYLS_DISK_WRITE_LATENCY
- BYLS_DISK_QUEUE_DEPTH_PEAK
- BYLS_DISK_COMMAND_ABORT_RATE
- BYLS_DISK_THROUGHPUT_USAGE
- BYLS_DISK_THROUGHPUT_CONTENTION
- BYLS_NUM_CLONES
- BYLS_NUM_CREATE
- BYLS_NUM_DEPLOY
- BYLS_NUM_DESTROY
- BYLS_NUM_RECONFIGURE
- BYLS_TOTAL_VM_MOTIONS
- BYLS_TOTAL_SV_MOTIONS
- BYLS_CPU_EFFECTIVE_UTIL
- BYLS_MEM_EFFECTIVE_UTIL
- BYLS_CPU_FAILOVER

これらのメトリックは、GlancePlus またはリアルタイム メトリック アクセス (RTMA) ユーティリティ (csh など) では使用できません。

- scope コレクタは、FS_DEVNO メトリックの値を 10 進数形式でログに記録します。リアルタイム計測 (RTM) コンポーネント、リアルタイム メトリック アクセス (RTMA) コンポーネント、HP GlancePlus は、FS_DEVNO の値を 16 進数形式で表示します。
- Solaris の非グローバルゾーンと AIX WPAR では、Performance Collection Component、GlancePlus、RTMA によって次のメトリック クラスはサポートされていません。

- CPU クラス (BYCPU)
- Disk クラス (BYDSK)
- Swap クラス (BYSWP)
- 論理ボリューム (LVM)
- 論理システム (BYLS)
 - **メモ:** さらに、Performance Collection Component では、AIX WPAR の NFS メトリッククラスのメトリックがサポートされていません。
- Solaris の非グローバルゾーンでは、Performance Collection Component によって次のメトリッククラスがサポートされていません。
 - GBL_DISK_TIME_PEAK
 - GBL_DISK_REQUEST_QUEUE
 - GBL_CPU_WAIT_UTIL
 - GBL_DISK_PHYS_IO_RATE
 - GBL_DISK_PHYS_READ_RATE
 - GBL_DISK_PHYS_WRITE_RATE
 - GBL_DISK_PHYS_BYTE_RATE
 - GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE_RATE
 - GBL_DISK_VM_IO_RATE
 - GBL_MEM_SYS_AND_CACHE_UTIL
 - GBL_SWAP_SPACE_AVAIL
 - GBL_SWAP_SPACE_RESERVED
 - GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB
 - GBL_SWAP_SPACE_MEM_AVAIL
 - GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MIN
 - GBL_DISK_UTIL_PEAK
 - GBL_DISK_PHYS_READ_PCT
 - GBL_CPU_WAIT_TIME
 - GBL_DISK_PHYS_IO
 - GBL_DISK_PHYS_READ
 - GBL_DISK_PHYS_WRITE
 - GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE_RATE
 - GBL_DISK_PHYS_BYTE
 - GBL_DISK_VM_IO
 - GBL_MEM_CACHE_HIT_PCT

- GBL_SWAP_SPACE_USED
- GBL_SWAP_SPACE_UTIL
- GBL_CPU_MT_ENABLED
- GBL_SWAP_SPACE_DEVICE_AVAIL
- GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MAX
- TBL_PROC_TABLE_UTIL
- TBL_FILE_LOCK_USED
- GBL_ZONE_APP
- 次のメトリックについては、Performance Collection Component は非グローバルゾーンでグローバルゾーンの値を表示します。
 - GBL_MEM_DNLC_HIT_PCT
 - GBL_FS_SPACE_UTIL_PEAK
 - GBL_NET_PACKET_RATE
 - GBL_NET_IN_PACKET
 - GBL_NET_IN_PACKET_RATE
 - GBL_NET_OUT_PACKET
 - GBL_NET_OUT_PACKET_RATE
 - GBL_NET_COLLISION_RATE
 - GBL_NET_COLLISION_PCT
 - GBL_NET_DEFERRED_PCT
 - GBL_NET_ERROR_RATE
 - GBL_NET_IN_ERROR_PCT
 - GBL_NET_IN_ERROR_RATE
 - GBL_NET_OUT_ERROR_PCT
 - GBL_NET_OUT_ERROR_RATE
 - GBL_NET_COLLISION_1_MIN_RATE
 - GBL_NET_ERROR_1_MIN_RATE
 - GBL_RUN_QUEUE
 - GBL_LOADAVG
 - GBL_LOADAVG5
 - GBL_BLOCKED_IO_QUEUE
- 非グローバルゾーンの次のメトリックでは、Performance Collection Component は常にゼロをレポートします。

- GBL_NUM_DISK
- GBL_NUM_LS
- GBL_NUM_ACTIVE_LS
- GBL_NUM_DISK
- Linux の場合、次のメトリックは SUSE Linux Enterprise Server 11 および Red Hat Enterprise Linux 5.4 以降でのみログに記録されます。
 - APP_DISK_PHYS_IO_RATE
 - APP_DISK_PHYS_READ
 - APP_DISK_PHYS_READ_RATE
 - APP_DISK_PHYS_WRITE
 - APP_DISK_PHYS_WRITE_RATE
 - APP_IO_BYTE
 - APP_IO_BYTE_RATE
- UNIX/Linux プラットフォームのマニュアルページを表示するには、MANPATH 変数を次の場所に手動で設定する必要があります。
 - AIX の場合: /usr/lpp/OV/man, /usr/lpp/perf/man
 - HP-UX、Solaris、Linux の場合: /opt/OV/man, /opt/perf/man
- ポリシー名に: の文字が含まれている場合、ovpolicy コマンドでポリシーを有効または無効にすることはできません。
- ソースが組み込みパフォーマンス コンポーネントに設定されている Measurement Threshold ポリシーでは、PROCESS オブジェクトを SCOPE データソースとともに使用することはできません。このような Measurement Threshold ポリシーは監視の実行に失敗し、次のようなメッセージを HPOM コンソールに送信します。

```
CODA:GetDataMatrix returned 76='Method  
ScopeDataView::CreateViewEntity failed
```

ドキュメントの更新

本書の最初のページには、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号
- ソフトウェアリリース日付

最近の更新をチェックしたり、ドキュメントの最新版を使用していることを確認したりするには、[HP ソフトウェア製品 マニュアル](#)の Web サイトにアクセスしてください。

ドキュメントを取得するには、次のように選択してください。

1. 製品名
2. バージョンリスト
3. オペレーティングシステム
4. 表示言語

5. ドキュメントのタイトル

6. **[開く]** または **[ダウンロード]** をクリックします。

PDF 形式 (*.pdf) のファイルを表示するには、Adobe® Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader をダウンロードするには、[Adobe](#) の Web サイトにアクセスしてください。